

他ノ欠ヲ補ハシメンガ為メデアル、事業ニ於ケル亦同シ、資本
家其ノ位ニ驕リ富ヲ誇リ労働者偏狹無智ニ支配サレ
レバ、敦厚ノ風衰ヘ上下ノ意志疎隔シ、事業遂ニ亡ズ、斯ク
テハ人ノスタル使命ヲ果セリトハ言ヘナイ、デアル、カルガ故ニ
真ニ國家ヲ懐ヒ從テ亦事業ヲ懐フ者ハ必ズ労働者
ノ訓育善導ヲ義務トスル。

借天然ラバ、其ノ善導ノ方策如何イ、之ニ就テハ種々ノ
シガ為サレテ居ル、曰ク講習、夜學、講演、説教等、ト併思
フニ之等ハ言ハル故策、方策デアツテ之等以外ニ等ヨリモ
送、重ナル根本的方策ノ存スルコトヲ念ヒテハナラナイ
曰ク「労働者ノ生活ノ大部余ヲ占ムル業務上ニ於ケル善
導」デアル、現場ニ於ケル直接使役ノ改善デアル、現場ニ於
テ日夕労働者ヲ扱フ其ノ扱方ヲ指導的教育的ニ行フ

云フコトデアル、今事業上ニ於ケル善導ヲ分ツテ労働者自ラ
業務上ニ於テ採ルベキ態度ト資本家ノニ対スル方策
ノ二トスル。

一、労働者ハ誠實熱心ニ労働シナケレバナラナイ
凡ソ個人ト社會トノ關係ハ大別シテ二ツニ分ケルコトヲ俾
ル、個人ガ社會ニ対スル貢獻ト之ニ対シテ社會ヨリ受ケル
一切ノ利益デアアル、社會ニ対スル貢獻トハ與ヘラレタル任務ヲ
盡スコトデアアル、健全ナル個人トハ全カヲ盡シテ社會ニ貢
献シ之ニ対スル社會ノ尊敬利益ノ有キモノヲ言フ、健全ナ
ル國家社會トハ斯クノ如キ立派ナ人々が相集ツテ組
織セルモノヲ言フ、デアアル、カルガ故ニ何人ト雖其ノ地位境
遇ノ如何ヲ問ハズ先ヅ全カヲ盡シテ其ノ任務ヲ盡スベ
ク、之レ體テ社會ニ貢獻シ人格ノ完成社會ノ進歩ヲ